

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月23日

計画の名称	高石市公共下水道整備計画（重点計画）（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	高石市												
計画の目標	公共下水道施設の災害時における機能停止を未然に防止するため、限られた財源の中で、ライフサイクルコスト最小化の観点を踏まえた下水道施設の計画的な耐震・津波対策を推進する。 雨水管渠の整備を行い、都市浸水対策を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	259	A	259	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H30当初	中間目標値 H30末	最終目標値 H31末
1	①下水道による都市浸水対策の達成率を68.3%（H30当初）から68.6%（H31）に向上させる。 ①下水道による都市浸水対策達成率 ＝（浸水対策完了済み面積（ha）/浸水対策を実施すべき面積（ha））	68%	68%	69%
2	②羽衣ポンプ場耐震・津波対策を実施し、実施率を0%（H30当初）から100%（H31）に向上させる。 ②羽衣ポンプ場耐震・津波対策実施率 ＝（羽衣ポンプ場耐震・津波対策実施済み建築物/羽衣ポンプ場耐震・津波対策を実施すべき建築物）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
定量的指標の現況及び目標値①（当初）68.3%（中間）68.4%（最終）68.6%②（当初）0%（中間）50%（最終）100%												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H30	H31	R02	R03	R04					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	高石市	直接	高石市	管渠（ 雨水）	新設	湾岸北部処理区 雨水管 渠整備事業	雨水管 φ300～900mm L=64 0m	高石市	■	■				154	—	—		
	A07-002	下水道	一般	高石市	直接	高石市	ポンプ 場	改築	羽衣ポンプ場 耐震・津 波対策実施	詳細設計、耐震・津波対策工 事	高石市	■	■				105	—	—		
												小計						259			
												合計							259		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 高石市にて実施	事後評価の実施時期 令和2年度  公表の方法 高石市ホームページにて公表
----------------------	--

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	①雨水管渠の整備を行い都市浸水達成率を68.3%（平成29年度末）から68.6%（令和元年度末）に向上させたことにより、家屋等の浸水被害の低減につながった。 ②羽衣ポンプ場の耐震・津波対策工事を実施したことにより、災害時の機能停止を未然に防いだ。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	（空白）

○特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き雨水管渠整備を進め、良好な水環境の創造に寄与していくほか、ポンプ場の耐震化等を行い、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防いでいく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	69%
	最終実績値	69%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(参考様式3)

(参考図面)

